

各 位

京都市上京区東堀川通り一条上ル堅富田町 436 番地の 2  
株式会社 エスケーエレクトロニクス  
代表取締役社長 石田 昌徳  
(コード番号：6677)

問い合わせ先 経営戦略室長 前 川 隆  
電話番号 075 (441) 2333 (代表)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 11 月 9 日に公表いたしました平成 28 年 9 月期 第 2 四半期累計期間（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）および通期（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日） (単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	8,000	500	500	300	26 円 95 銭
今回修正予想 (B)	8,000	700	700	1,300	116 円 78 銭
増 減 額 (B - A)	-	200	200	1,000	
増 減 率 (%)	-	40.0%	40.0%	333.3%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 9 月期第 2 四半期)	10,461	2,543	2,349	1,503	134 円 19 銭

(2) 通期（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日） (単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	16,000	900	900	500	44 円 91 銭
今回修正予想 (B)	16,000	1,100	1,100	1,500	134 円 74 銭
増 減 額 (B - A)	-	200	200	1,000	
増 減 率 (%)	-	22.2%	22.2%	200.0%	
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 27 年 9 月期)	19,660	3,784	3,766	2,156	192 円 45 銭

## 2. 個別業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	6,200	90	100	120	10円78銭
今回修正予想(B)	6,200	200	200	1,100	98円81銭
増減額(B-A)	-	110	100	980	
増減率(%)	-	122.2%	100.0%	816.7%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成27年9月期第2四半期)	9,099	2,261	2,288	1,478	131円94銭

(2) 通期(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	12,400	100	250	250	22円46銭
今回修正予想(B)	12,400	210	350	1,230	110円49銭
増減額(B-A)	-	110	100	980	
増減率(%)	-	110.0%	40.0%	392.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成27年9月期)	16,542	2,893	3,113	1,826	162円98銭

## 3. 修正理由

平成28年9月期第2四半期累計期間の市場環境は、フラットパネルディスプレイの高精細化が期初の想定以上に進行し、それに伴う高付加価値フォトマスクの需要も増加する見通しとなりました。これら増加する需要に対して、納期対応等お客様のご要望にしっかりとお応えする事で、売上高は堅調に推移すると見込んでおります。

また、高付加価値フォトマスクの受注増加によるプロダクトミックスの改善や、リサイクル材料の有効活用が進んでいる事に加え、本日公表いたしました「和解による訴訟の解決および特別利益の発生に関するお知らせ」に記載の通り、シャープ株式会社からの受取和解金8億円が特別利益に計上される見通しとなったことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回予想を上回る見通しとなりました。

平成28年9月期通期の業績予想につきましては、第3四半期会計期間および第4四半期会計期間は、平成27年11月9日に公表いたしました業績予想を据え置き、第2四半期累計期間の修正分を加味した内容としております。

なお、平成28年2月6日に発生しました台湾南部地震により、連結子会社である頂正科技股份有限公司の製造設備が一部破損し、その修繕費等120百万円を特別損失として見込んでおります。当該製造設備に対しては地震保険を付保しておりますが、現時点では受取保険金額が確定しておりません。従いまして、受取保険金は当業績予想には織り込んでおりません。

## 4. その他

台湾南部地震により被災した製造設備に関しましては、鋭意修復に努め、徐々に稼働を再開しております。当該業績への影響につきましては、修繕費等の追加による特別損失の発生や受取保険金の計上による特別利益の発生など、今後開示すべき事実が発生しましたら速やかにお知らせいたします。

### ※ 将来の事象に関わる記述に関する注意

業績予想につきましては、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上